

---

# 半悪魔

大賀

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

半悪魔

### 【Zコード】

N7343A

### 【作者名】

大賀

### 【あらすじ】

半分人間で半分悪魔。どちらにもいけない。そんななか、1人の人間の命を救うために――

プロローグ（前書き）

## プロローグ

鼻に入つてくる草の匂い。オレにとっては新鮮なものだつた。  
昨日、ここ、父さんのふるさとに帰ってきた。オレが生まれて  
から一度も踏み込んだことのなかつた土地……ここがそうなのか。  
家やビル、マンションがぐちゃぐちゃにつめこまれた都會と違  
つて、ここは田んぼとかしか見えない。家なんか、点々として立つ  
ているぐらいだ。ここの人たちにとつては、これが普通なんだろう  
な。

オレは、ずうっと青い空を見て、草の匂いをかいでいたかつた。  
いろんなことを忘れて、ずうっと……

## 半分人間 半分悪魔

昨日、父さんのふるやとなる所に帰つてきたオレ 竜。  
家もまるつきり違うし、学校だつて絶対全然違うんだろ？  
そんな変化にたえられないと思ひはじめたオレは、初登校をやめ、  
今こうして草原でのんびりしている。

だつて、そのほうが楽だし。父さんは悪いがな。

「あれえ～、お前つて、今日来るつて噂の子か？」

オレの寝転んでいたとこから見えた空が隠されて、一つの顔が見え

た。

「……誰？」

「ん…オレ？オレはりきつていつ名前だぜ。力ちからつて書いてりきつて  
読むんだ」

「あつそ…ようないんだつたらオレの前から消えてくんない？」

「うわっ。その態度、ひどすぎー同じ悪魔なんだから、もつちょい  
仲良くしてくれたつていいじゃん」

「断る」

オレは草原から起き上がつた。全く、オレになんかようがあつて話  
かけてきてるんだつたらまだ我慢できるのにな。ただ話かけられる  
のはうざつたいだけだ。

ん？……悪魔がなんの意味かわからないつて？そりやあそつだらう  
な。まだなんの説明もしてないし…。

オレの説明だと分からぬかもしれないが頑張つて理解してくれ。

いいかい、諸君。基本的にこの世界は悪魔と人間に分けられてい  
る。人間と悪魔の違いは一つしかない。悪魔には額に小さなくろ  
のマークがあるのだ。それで悪魔か人間かが区別されている。

約900年前ぐらいに、この世界に二つの種族が一緒に住むこと  
となつた。

だが、やはり悪魔が人間かで分けられてしまう。それが幼稚園や保育園からだ。大人たちから言われるからか、遊ぶ友達も種族で分かれてしまう。まつ、これが当然の流れなんだろう。

以上、オレの説明は終わりだ。

オレはどうちか？どうちかなんてはつきり言えねーな。オレは半分人間で半分悪魔だから。さっきの力ってやつが悪魔って言ったのは、額に薄いどくろがあつたから

## 半分人間 半分悪魔（後書き）

まだまだ未熟すぎて、内容があやふやですみません。  
よくわからなくてなんだこれ？と思つた方もたくさんいると思います。

直したほうがいいとか、そういうのがあつたらじゅんじゅんアドバイスください。

## 初登校の日

人間と悪魔が住むこの世界。ある所で、人間の女と悪魔の男が愛し合つた。

周りの反対を無視し、いろいろと言われながらも2人は結婚した。そして一人の子供が生まれた。それがオレだ。

昔から、2つの血が混ざっているからといって仲間はずれにされた。大きくなつた今だつてそうだ。この前の学校でやつとなれてきたつていうのにな…引っ越しでオレの努力が水の泡だぜ。

オレは、どちらにも入れない、はんぱものなんだ。だから、友達なんて作るうとも思わない。

たぶん、これがオレの運命つてやつなんだろうな。きたものは受け取らなくちゃ…。

昨日学校にいかなかつたから、今日がオレの新しい学校への初登校日となつた。

よそから来たオレがそんなに珍しいのか、登校している他のやつらがジロジロ見てくる。

特に視線が集まっていたのが額だ。オレが悪魔か人間か確かめようとして。

この学校でオレが半分づつの血だということがバレるのにそう時間はかかるないだろうな…たくつ、あーあ、前の学校に帰りてえ…「転校生の、竜君だ。竜君、自己紹介してくれ」つと、髪のハゲた先生が、ビルの学校でも言つようなセリフをオレや田の前の生徒たちに言つ。

先生の希望通り、オレは一步前にでて自己紹介してやつた。

「…竜つていいます。よろしくお願ひします…」

オレの頭の中は空っぽだつたため、これ以上言つことが思いつかなかつたのだ。

先生が席を立つ。オレがそこにいき、隣の席の女の子が話しかけてくる。といつおなじみのパターンで進んでいった。

「竜君でいい？あたしは由美だよ。よろしくう～」

妙なくらい元気だ。「こはみんなそうなのか？昨日話しかけてきた“力”って奴もそだつたし…だとしたらオレはこのテンションについていけないだろう。まあ、もとから友達なんてものを持ったことがないオレは知つたこつちやないが。

そう言えれば…力って奴もこの学校のはずだ。制服がそだつたし…：「あ～…やつぱりおまえが噂の転校生だったんじゃん」ナイスタイミングで力ってやつが話しかけてくる。力は由美の前の席だった。

「えつ？力と竜君つて知り合いなの？」

「いや、こんな奴知らない」

オレはそう言つて2人を無視した。こんなやつらと話しきしているなんてめんどくさいだけだ。どうせこつちが半悪魔だつて分かつたら、話しかけてこなくなるくせに…

その後、しつこく力が話しかけてきたが、無視し続けたらおとなしくなつた。そして学校が終わる…

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7343a/>

---

半悪魔

2010年10月17日03時50分発行